



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼COO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けIR電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	42,994	6.9	3,250	29.5	3,427	32.9	3,042	△59.0
2023年3月期第1四半期	40,224	7.8	2,510	172.7	2,578	72.1	7,426	289.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,310百万円(△64.1%) 2023年3月期第1四半期 9,210百万円(223.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 28.58	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	69.95	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 443,118	百万円 124,549	% 26.8
2023年3月期	439,999	123,889	26.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 118,552百万円 2023年3月期 117,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 45.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期(予想)年間配当金の内訳 記念配当 4円00銭

2024年3月期(予想)の配当金については、「創立50周年記念配当」を予定しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	89,000	5.9	6,500	△9.2	6,500	△12.7	5,200	△57.2	48.85
通期	201,000	18.4	19,000	54.8	19,000	43.4	14,000	△17.2	131.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名)、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	108,520,799株	2023年3月期	108,520,799株
2024年3月期1Q	2,064,858株	2023年3月期	2,072,758株
2024年3月期1Q	106,451,253株	2023年3月期1Q	106,160,622株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	40,224百万円	42,994百万円	+6.9%
営業利益	2,510百万円	3,250百万円	+29.5%
経常利益	2,578百万円	3,427百万円	+32.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,426百万円	3,042百万円	△59.0%

(参考) 評価 営業利益	4,972百万円	6,074百万円	+22.2%
--------------	----------	----------	--------

[前年同期比]

前年同期には、会員権事業において、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありましたが、当期間では、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」の販売好調も加わり、前年を上回る契約実績であったこと、ホテルレストラン等事業において、回復が遅れていた都市部の会員制リゾートホテルの稼働率が前年を上回ったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、引き続き好調に推移し、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、課題であったシニアレジデンスの稼働率が上昇に転じたことなどにより、リゾートトラストグループ全体として、経常利益までは「増収増益」となりましたが、前年同期に一般ホテル売却に伴う特別利益(約80億円)があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は「減益」となっております。また、不動産収益の繰延影響等を除いた実力値を示す「評価営業利益」は、ホテル会員権の販売好調により大きく進展しております。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

[全体概況]

当第1四半期連結累計期間における、わが国経済は、資源価格や物価、人件費などの高騰が個人消費、企業活動へ影響を及ぼす中で、値上げ、賃金上昇、人手不足などへの対応が企業には求められました。このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ホテル、メディカルの会員権販売が好調であり、昨年実施したホテルレストラン等事業における値上げの効果に加え、6月には、一部会員権の値上げを実施し、インフレリスクへ対応しております。一方で、前年同期には一般ホテル売却に伴う「特別利益」約80億円が計上されていたことなどにより、この結果として、売上高は42,994百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は3,250百万円(前年同期比29.5%増)、経常利益は3,427百万円(前年同期比32.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,042百万円(前年同期比59.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	9,112百万円	9,232百万円	+1.3%
セグメント利益	2,967百万円	2,399百万円	△19.2%

会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移しましたが、開業するまでの間は、「不動産代金」の「売上高および原価」が繰延べられること、また、前年同期に比べ、見込み客紹介の業務委託手数料や営業スタッフのベア等件費の増加などコストアップにより、増収減益となりました。6月からは一部会員権の値上げを行っており、コスト増に対応してまいります。

【ホテルレストラン等事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	20,086百万円	22,224百万円	+10.6%
セグメント利益	400百万円	1,363百万円	+240.5%

ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、一部ホテル売却の準備コストがかかっていたものがなくなるなどコスト減少に加え、昨年11月からの値上げの効果、更には、「東京ベイコート倶楽部」など回復の遅れていたアーバンリゾートの稼働回復などにより、ベアや中抜け廃止などの人事施策実行に伴うコスト増を吸収し、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	10,846百万円	11,362百万円	+4.8%
セグメント利益	1,446百万円	1,523百万円	+5.3%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったことで、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことに加え、シニアレジデンスの稼働回復などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	180百万円	174百万円	△3.4%
セグメント利益	121百万円	101百万円	△16.1%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は443,118百万円(前連結会計年度比0.7%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員権販売における提携ローンの利用に伴い、営業貸付金が2,759百万円減少し、割賦売掛金が6,677百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は318,569百万円(前連結会計年度比0.8%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が10,976百万円増加した一方で、長期借入金10,926百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は124,549百万円(前連結会計年度比0.5%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が351百万円増加したことなどによるものであります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は26.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日に公表した当期の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2024年3月期 通期連結業績予想数値 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	169,830百万円	201,000百万円	+18.4%
営業利益	12,270百万円	19,000百万円	+54.8%
経常利益	13,247百万円	19,000百万円	+43.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	16,906百万円	14,000百万円	△17.2%
評価 営業利益	22,358百万円	19,380百万円	△13.3%

創立50周年を迎えた当社グループは、2023年4月～2028年3月までの中期5ヵ年経営計画を策定しました。

本中期経営計画においては、前中計のコンセプトであった、これまで培ってきたそれぞれの事業を横の連携でしっかりと「つなぐ(connect)」ことに加えて、各事業にサステナビリティの軸を通し、社会価値と経済価値の両立を目指した上で、会員と共に、社員と共に、全てのステークホルダーのウェルビーイングを追求し、より強固なグループブランドを実現するとともに、お客様の一生涯を通じてお付き合いをしていただけるグループになることを目指します。

このような状況下、通期業績の見通しについては、会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート高山」が2024年3月に開業を迎えることで、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、ホテル、ゴルフ、メディカル、シニアライフ等の運営収益が拡大し、新たな価値を創出する一方で、賃金を継続的に上げる人的資本投資を拡大させることにより、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出していくことなどから、当社グループ全体として、売上高 201,000百万円（前年同期比 18.4%増）、営業利益 19,000百万円（同 54.8%増）、経常利益 19,000百万円（同 43.4%増）と売上高、営業利益は「過去最高を更新」し、増収増益を見込んでおりますが、一般ホテル売却に伴う特別利益が無くなることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は、14,000百万円（同 17.2%減）と減益を見込んでおります。なお、2023年7月14日付で、特別利益（有価証券償還益）の計上が見込まれたこと等に伴い業績予想を上方修正しております。

また、配当金の予想については、年間配当金46円に「創立50周年」記念配当金4円を加え、前年同期に比べ5円増配の年間配当金50円（予想）と増配を行い、過去最高の配当金額となる見込みであります。（予想年間配当金の内訳：中間配当金23円＋記念配当2円、期末配当金23円＋記念配当金2円）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,467	26,913
受取手形、売掛金及び契約資産	11,632	9,585
割賦売掛金	61,585	68,263
営業貸付金	32,291	29,531
有価証券	10,817	9,204
商品	1,038	1,138
販売用不動産	4,914	4,650
原材料及び貯蔵品	1,485	1,634
仕掛販売用不動産	26,139	31,167
リース投資資産	4,162	4,016
その他	6,411	8,539
貸倒引当金	△982	△1,007
流動資産合計	187,964	193,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,829	95,889
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	1,813
コース勘定	7,635	7,635
土地	43,702	43,746
リース資産（純額）	1,928	1,870
使用権資産	10,985	11,009
建設仮勘定	10,388	11,833
その他（純額）	2,927	2,870
有形固定資産合計	176,133	176,670
無形固定資産		
のれん	1,265	1,159
ソフトウェア	3,015	2,797
その他	1,876	2,120
無形固定資産合計	6,157	6,077
投資その他の資産		
投資有価証券	22,915	21,238
関係会社株式	1,328	1,331
長期貸付金	4,810	4,728
退職給付に係る資産	418	400
繰延税金資産	19,345	18,097
その他	21,343	21,359
貸倒引当金	△417	△425
投資その他の資産合計	69,744	66,730
固定資産合計	252,035	249,478
資産合計	439,999	443,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738	1,459
短期借入金	1,308	1,290
1年内返済予定の長期借入金	11,300	19,151
リース債務	1,470	1,458
未払金	11,403	8,856
未払法人税等	4,723	775
未払消費税等	2,245	2,191
前受金	95,402	106,378
前受収益	15,020	16,375
債務保証損失引当金	35	33
ポイント引当金	511	527
その他	11,535	13,373
流動負債合計	156,695	171,872
固定負債		
長期借入金	13,487	2,560
リース債務	20,985	20,848
繰延税金負債	322	372
株式給付引当金	547	763
退職給付に係る負債	3,007	3,070
長期預り保証金	29,813	29,635
償却型長期預り保証金	86,073	84,257
その他	5,178	5,188
固定負債合計	159,414	146,696
負債合計	316,110	318,569
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,574	21,695
利益剰余金	73,662	74,013
自己株式	△3,064	△3,056
株主資本合計	111,762	112,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,813	3,019
為替換算調整勘定	2,976	2,976
退職給付に係る調整累計額	322	312
その他の包括利益累計額合計	6,112	6,308
非支配株主持分	6,014	5,996
純資産合計	123,889	124,549
負債純資産合計	439,999	443,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	40,224	42,994
売上原価	4,313	4,630
売上総利益	35,911	38,364
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	13,011	13,539
修繕維持費	921	1,091
貸倒引当金繰入額	116	27
水道光熱費	1,670	1,780
減価償却費	2,126	1,979
その他	15,554	16,696
販売費及び一般管理費合計	33,401	35,114
営業利益	2,510	3,250
営業外収益		
受取利息	254	243
受取配当金	1	4
持分法による投資利益	5	3
貸倒引当金戻入額	52	31
債務保証損失引当金戻入額	0	1
為替差益	2	0
助成金収入	65	52
その他	35	105
営業外収益合計	419	443
営業外費用		
支払利息及び社債利息	64	67
シンジケートローン手数料	-	14
控除対象外消費税等	191	118
その他	94	65
営業外費用合計	351	266
経常利益	2,578	3,427

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	8,001	-
投資有価証券売却益	8	-
有価証券償還益	-	1,478
新株予約権戻入益	313	-
特別利益合計	8,323	1,478
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	11	1
投資有価証券評価損	63	-
その他	0	-
特別損失合計	74	1
税金等調整前四半期純利益	10,827	4,904
法人税、住民税及び事業税	2,419	579
法人税等調整額	927	1,211
法人税等合計	3,346	1,790
四半期純利益	7,481	3,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,426	3,042

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,481	3,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,014	206
為替換算調整勘定	723	0
退職給付に係る調整額	△9	△10
その他の包括利益合計	1,729	196
四半期包括利益	9,210	3,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,155	3,238
非支配株主に係る四半期包括利益	54	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事 業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,112	20,086	10,846	40,044	180	40,224
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	731	75	816	462	1,278
計	9,121	20,817	10,922	40,861	642	41,503
セグメント利益	2,967	400	1,446	4,814	121	4,935

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,814
「その他」の区分の利益	121
全社費用(注)	△2,425
四半期連結損益計算書の営業利益	2,510

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレス トラン等事 業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,232	22,224	11,362	42,820	174	42,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	982	110	1,101	354	1,456
計	9,242	23,207	11,473	43,922	529	44,451
セグメント利益	2,399	1,363	1,523	5,286	101	5,387

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,286
「その他」の区分の利益	101
全社費用 (注)	△2,137
四半期連結損益計算書の営業利益	3,250

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。